

東京国際シンポジウム

# 被災・避難者の 生命・生活・人生を支援する

会場・時間 東京家政大学 板橋校舎 162C講義室  
13:00~17:00

2013年8月31日(土)開催

東日本大震災の被災者は発災後2年半となった今日でも、多くの人々が東北に限らず全国で厳しい避難生活を余儀なくされています。

被災・避難生活の質的向上のために、生活学（家政学・人文学）の伝統を有する本学はどのような寄与・支援ができるのか。いま本学の存在意義が問われる重大な課題に直面していると言えます。この共通認識のもと、人間生活の多面的な研究を展開してきた本学大学院の人間生活学総合研究科と、Life（生命・生活・人生）と環境の相互作用の調査・研究・実践に従事してきた本学人間文化研究所との共催により、被災・避難者支援の国際シンポジウムを開催することとなりました。

夏期休暇中ではありますが、当大会の趣旨をご理解いただき、教職員・学生・緑窓会・保護者の方々のご参加を心より願っております。なお、今回の大会は一般市民公開シンポジウムでもあります。

## スケジュール

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会  
司会：大学院人間生活学総合研究科長 西村純一
- 13:00 学長挨拶  
東京家政大学 学長 木元幸一
- 13:05 大会の趣旨説明  
人間文化研究所 所長 関根靖光
- 13:10 基調講演「前に進む：壊滅的な技術的災害からの復興」  
米国デラウェア大学災害研究センター  
副所長 トリシア・ヴァハテンドルフ
- 14:00 講演「災害と救援医療最前線：石巻の体験」  
日本赤十字社医療センター国内医療救援部長  
肝胆膵・移植外科 丸山嘉一
- 14:50 休憩
- 15:10 仮設住宅生活の質的向上を目指して  
1. 「飯舘村のままでの精神は消えない」  
福島県飯舘村復興大使・いいたてカーネーションの会  
高橋みほり  
2. 「仮設住宅の生活支援～買い物代行を始めて」  
もりおか女性センター所長 田端八重子
- 16:10 報告「被災地仮設住宅の高齢者への食生活支援  
—岩手県大槌町食生活調査から—」  
東京家政大学 栄養学科准教授 和田涼子
- 16:40 まとめ  
人間文化研究所 所長 関根靖光
- 17:00 閉会

共催

東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科  
東京家政大学 人間文化研究所

シンポジウムへの  
参加費は無料と  
なっております

参加には事前の  
申し込みが必要です

TOHOKU

東京家政大学  
大学院事務室

[TEL] 03-3961-3473  
[FAX] 03-3961-5260

申し込み  
問い合わせ先